



## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社エヌジェイホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 9421 URL https://www.njhd.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 尚弘  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 野澤 創一 TEL 03-5418-8128  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	6,692	△12.5	19	△91.7	5	△97.6	△15	—
2024年6月期第3四半期	7,647	△0.4	237	—	234	—	382	—

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 △8百万円 (—%) 2024年6月期第3四半期 389百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	△2.86	—
2024年6月期第3四半期	72.31	—

(注) 1. 2024年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2025年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	3,768	1,661	41.5
2024年6月期	3,943	1,669	40.1

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 1,565百万円 2024年6月期 1,580百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2025年6月期の配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	△8.5	100	△2.6	60	△37.7	40	△85.4	7.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	5,350,400株	2024年6月期	5,350,400株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	57,570株	2024年6月期	57,550株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	5,292,838株	2024年6月期3Q	5,292,850株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算説明資料は、2025年5月9日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、欧米における高い金利水準やアメリカの通商政策の影響などによる下押しリスクが存在しておりますが、物価の安定と経済成長を目指す政策が進められるなか、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。

ゲーム業界におきましては、各種余暇産業の回復や動画配信業界の成長などで可処分時間を巡る競争に晒されております。スマホゲーム市場では、ダウンロード数は増加しており、コロナ禍の反動減から戻りつつありますが、ゲーム内支出は回復しておらず、市場は横ばいにあります。コンシューマー市場では、ハードの普及が落ち着き、次世代機への動向が注目されるなか、市場規模は前年より減少して推移しております。世界の市場規模においては、ハードの普及とともにコンシューマー市場が拡大していくなかで、それと同規模以上にPCゲーム市場も拡大しております。大型から小規模まで多様なインディータイトルのリリースが増えており、引き続き順調な成長が予想されております。

モバイル業界におきましては、端末価格は円安や物価高から上昇傾向にありますが、値引き規制の上限の引き上げや各通信事業者にて機種変更施策の強化がされるなか、過去数年に渡り減少していた買い替え需要の反動もあって、出荷台数は回復しております。

このような事業環境のなか、当社は、ゲーム事業におきましては、プロジェクトマネジメントの強化と新規案件の獲得に取り組んでまいりました。モバイル事業におきましては、効率的な店舗運営に努めるとともに、サポートサービスの獲得など収益機会の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結結果計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、ゲーム事業においては、前期に開発体制のピークを過ぎた案件があることや運営及び運営サポートを行う案件の体制縮小により、減収となりました。モバイル事業においては、主に新規出店した店舗の収益寄与により、増収となりました。この結果、売上高は、6,692百万円と前年同期と比べ954百万円(12.5%減)の減収となりました。

営業利益及び経常利益は、ゲーム事業におきましては、当期に開発体制が拡大している案件があるものの、前期に開発体制のピークを過ぎた案件による減収影響や運営及び運営サポートを行う案件の縮小等の影響から、減益となりました。モバイル事業におきましては、新規出店した店舗の利益寄与に加え、既存店も順調に販売台数を伸ばしたことにより、増益となりました。この結果、営業利益は、19百万円と前年同期と比べ218百万円(91.7%減)の減益となり、経常利益は、5百万円と前年同期と比べ229百万円(97.6%減)の減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、15百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は382百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)ゲームスタジオ、(株)トライエース、(株)ウィットワン、(株)ウィットワン沖縄及び(株)テックフラッグにてゲームの開発受託及び運営受託等を行っております。

売上高については、前期に開発体制のピークを過ぎた案件があることや運営及び運営サポートを行う案件の体制縮小により、4,774百万円と前年同期と比べ1,262百万円(20.9%減)の減収となりました。

セグメント利益(営業利益)については、当期に開発体制が拡大している案件があるものの、前期に開発体制のピークを過ぎた案件による減収影響や運営及び運営サポートを行う案件の縮小等の影響から、158百万円の営業利益と前年同期と比べ221百万円(58.3%減)の減益となりました。

#### ② モバイル事業

当セグメントにおきましては、(株)ネプロクリエイトにてauショップ等のキャリアショップ及び複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

売上高については、来店者数の減少に底打ちが見られるなか、主に新規出店した店舗の収益寄与により、1,875百万円と前年同期と比べ305百万円(19.5%増)の増収となりました。

セグメント利益(営業利益)については、新規出店した店舗の利益寄与に加え、既存店も順調に販売台数を伸ばしたことにより、76百万円と前年同期と比べ34百万円(82.3%増)の増益となりました。

#### ③ その他

当セグメントにおきましては、クレジット決済事業等を行っております。

売上高については、50百万円と前年同期と比べ2百万円(5.5%減)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)については、20百万円と前年同期と比べ7百万円(27.1%減)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,768百万円となり、前連結会計年度末と比べ175百万円の減少となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産の増加438百万円、現金及び預金の減少792百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は2,107百万円となり、前連結会計年度末と比べ167百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金の増加62百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加125百万円、長期借入金の減少287百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,661百万円となり、前連結会計年度末と比べ8百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、当第3四半期連結累計期間の営業利益については、前期に開発体制のピークを過ぎた案件の体制縮小が進むなか、代わる新たな大型案件の受注が遅れている一方で、第3四半期において短期案件等の受注強化により影響を抑えた結果、黒字を計上いたしました。

現時点においては、通期における業績予想との乖離は軽微になるものと見込んでおりますが、当期の第4四半期に発売したタイトルの販売計画は予測に基づくものであることから、実際の販売実績と乖離が生じる可能性があります。また、受注を計画している新規案件について、企画検討や審議期間の長期化傾向から、その受注時期が来期にずれ込む可能性があります。

当連結会計年度(2025年6月期)における通期の業績見通しにつきましては、2024年8月9日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693,104	900,737
売掛金及び契約資産	804,432	1,242,678
商品	133,514	177,413
仕掛品	50,534	54,786
貯蔵品	1,811	1,009
その他	185,630	276,230
流動資産合計	2,869,027	2,652,855
固定資産		
有形固定資産	81,099	88,519
無形固定資産		
のれん	340,000	292,578
その他	26,249	88,605
無形固定資産合計	366,249	381,183
投資その他の資産		
差入保証金	350,872	347,961
その他	343,264	364,628
貸倒引当金	△66,524	△66,524
投資その他の資産合計	627,612	646,066
固定資産合計	1,074,962	1,115,770
資産合計	3,943,989	3,768,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	211,272	292,769
短期借入金	463,239	525,250
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	190,102	316,000
未払法人税等	36,655	72,438
賞与引当金	26,059	35,683
その他の引当金	174	40
その他	622,595	432,113
流動負債合計	1,570,098	1,674,295
固定負債		
長期借入金	427,000	140,000
退職給付に係る負債	148,952	158,601
その他	128,241	134,248
固定負債合計	704,194	432,849
負債合計	2,274,293	2,107,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	350,290	350,290
利益剰余金	696,295	681,184
自己株式	△59,111	△59,121
株主資本合計	1,580,319	1,565,198
新株予約権	34	34
非支配株主持分	89,342	96,248
純資産合計	1,669,696	1,661,481
負債純資産合計	3,943,989	3,768,625

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,647,740	6,692,782
売上原価	6,159,844	5,381,798
売上総利益	1,487,896	1,310,984
販売費及び一般管理費	1,249,969	1,291,136
営業利益	237,926	19,847
営業外収益		
受取利息	42	723
受取手数料	6,055	136
受取補償金	4,638	—
不動産賃貸料	9,076	4,919
その他	7,843	1,425
営業外収益合計	27,655	7,204
営業外費用		
支払利息	16,322	12,943
支払手数料	11,224	5,537
不動産賃貸原価	1,214	100
その他	2,066	2,727
営業外費用合計	30,827	21,309
経常利益	234,754	5,743
特別利益		
関係会社株式売却益	34,966	—
投資不動産売却益	179,512	—
特別利益合計	214,478	—
税金等調整前四半期純利益	449,232	5,743
法人税等	59,302	13,949
四半期純利益又は四半期純損失(△)	389,930	△8,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,217	6,905
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	382,712	△15,111

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	389,930	△8,205
四半期包括利益	389,930	△8,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,712	△15,111
非支配株主に係る四半期包括利益	7,217	6,905

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

## ※1 財務制限条項

当社は、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとして総額1,405百万円のシンジケートローン契約を2020年3月付で締結し、2024年9月24日付で変更契約を締結しております。

変更契約締結後の財務制限条項は以下のとおりであります。なお、条項中「2020年6月期末日及びそれ以降」とありますのは、変更契約により実際の判定としては「2025年6月期末日及びそれ以降」となります。

- ・2020年6月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2023年6月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額、又は直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
- ・2020年6月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結損益計算書に記載される経常損益を2回連続して損失としないこと。
- ・2020年6月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される有利子負債の合計金額から現預金の金額を差引いた金額を、2期連続して連結損益計算書における営業利益、受取利息、受取配当金、及び連結キャッシュ・フロー計算書における減価償却費の合計金額で除した割合が1.0倍を超えないこと。

この契約に基づく借入残高は次のとおりであります。

(借入金)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
短期借入金	463,239千円	525,250千円
長期借入金(一年以内返済予定額を含む)	335,750千円	200,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	20,202千円	48,600千円
のれんの償却額	59,999 "	62,521 "

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	4,016,220	1,564,620	5,580,840	53,767	5,634,608
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,013,132	—	2,013,132	—	2,013,132
顧客との契約から生じる収益	6,029,353	1,564,620	7,593,973	53,767	7,647,740
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,029,353	1,564,620	7,593,973	53,767	7,647,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,200	5,274	12,474	—	12,474
計	6,036,553	1,569,894	7,606,447	53,767	7,660,215
セグメント利益	380,691	42,072	422,763	27,457	450,220

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等でありませ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	422,763
「その他」の区分の利益	27,457
セグメント間取引消去	—
のれん償却額	△59,999
全社費用(注)	△152,294
四半期連結損益計算書の営業利益	237,926

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	4,023,456	1,875,590	5,899,046	50,830	5,949,876
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	742,905	—	742,905	—	742,905
顧客との契約から生じる収益	4,766,361	1,875,590	6,641,952	50,830	6,692,782
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,766,361	1,875,590	6,641,952	50,830	6,692,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,013	28	8,041	—	8,041
計	4,774,375	1,875,618	6,649,994	50,830	6,700,824
セグメント利益	158,851	76,688	235,539	20,029	255,569

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等ではありません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	235,539
「その他」の区分の利益	20,029
セグメント間取引消去	—
のれん償却額	△62,521
全社費用(注)	△173,200
四半期連結損益計算書の営業利益	19,847

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。